

東日本大震災での下越病院DMAT活動報告

【第1陣】2011年3月11日（金）～13日（日）於：岩手・宮城

1. 3月11日（金）発災初日

- 1)15:11 待機要請メールあり
- 2)16:48 全国のDMATに派遣要請があり、病院長より大宮にいるチームリーダー（医師）をピックアップし支援に向かうよう指示あり。
- 3)19:00 下越病院出発（看護師2人、調整員1人）
食糧・飲料水等を新津IC手前のコンビニにて調達
- 4)19:21 新津IC発 関越自動車道月夜野IC先が通行止め。R17を走行するも大渋滞のため沼田警察署で緊急車両の登録を依頼するも不可。前橋まで山道を案内していただく。

2. 3月12日（土）2日目

- 1)02:00 大宮にてリーダーと合流。R4および白河ICにて東北自動車道に乗り福島医大をめざす。
途中DMAT本部より路面凍結のためスタッドレス着用チームは宮城・岩手に行ってほしいとの要請があり、盛岡の参集拠点に行先変更。
- 2)14:00 岩手県消防学校着。数チームが大船渡、宮古方面の情報収集に行っているが連絡が取れないとのこと。待機するも特に活動なし。
- 3)18:30 岩手県消防学校での活動終了。市内では宿泊できないため秋田に移動。
- 4)21:30 秋田市内のホテル着。夕食および初日の反省と13日の活動について相談。
13日は仙台で活動することとし、消防学校統括に許可を得ることとした。

3. 3月13日（日）3日目

- 1)07:00 秋田市内のホテル発。秋田自動車道・東北自動車道を走行
- 2)11:30 宮城県参集拠点の仙台医療センター着。ER支援につく。群馬・京都DMATと共に活動。
- 3)18:10 昭和大チームに引き継ぐ。高速交通隊より緊急車両に登録してもらい、東北道・磐越道経由で病院に戻る。
- 4)22:00 下越病院着・解散

【第2陣】2011年3月17日（木）～20日（日）於：新潟県消防学校

1. 3月17日（木）7日目

- 1)13:43 福島での活動要請あり。院長より出動許可おりるも県からの要請がなく待機。
新潟県DMAT事務局より新潟での被災者受け入れ活動を重視する旨の連絡あり。

2. 3月18日（金）8日目

- 1)08:45 新潟県DMAT本部より南相馬市立病院の患者を受け入れるための域内拠点活動への参加要請があり院長の許可を得る。
- 2)10:39 待機完了。派遣要請を待つが指示なし。19日14時からの活動要請があり、12:30に集合することを確認。

3. 3月19日（土）9日目

- 1)12:30 下越病院発。
- 2)13:30 2台に分乗にし新潟県消防学校着。任務分担 ⇒ 医師：搬出、看護師：搬入・健康チェック、調整員：患者情報整理。バスで搬送された患者を搬送。
- 3)19:30 当日の活動終了を確認するも、その後救急車10台にて搬入あり。
下越病院に患者3人を搬送。
20日は11時消防学校集合が10時になり、9時下越病院集合を確認。

4. 3月20日（日）10日目

- 1)09:00 下越病院集合。ポータブルトイレを積み込み2台で県消防学校へ
- 2)10:00 消防学校着。任務分担 ⇒ 医師：搬出責任者、看護師：搬入、調整員：クロノロジー責任者。
- 3)16:40 最後の患者を救急車にて搬送。活動終了。
- 4)17:10 消防学校発、解散

【振り返り及び反省・要望】

1. 第1陣

- 1)派遣要請から約2時間で物資を積み込み出発することができた。
- 2)仙台医療センターのER支援では主体的に活動することができ、現地スタッフの疲労軽減に寄与することができた。
- 3)岩手県消防学校で待機に終わったことは、SCUのニーズがこの時点ではなかったと考えられる。
より早く到着できていれば現地に派遣されたと考える。

2. 第2陣

- 1)統括のもと、医師・看護師・調整員に別れ、それぞれの任務を職種ごとに連携して行うことができた。
- 2)一度活動を終了した後の予期せぬ搬送にも対応できた。
- 3)搬出・クロノロの分野で責任者として活動を経験した。

3. 反省点及び要望

- 1)出発時、緊急車両の登録を行うべきであった。関越道・東北道もより早く利用できる可能性があった。「急がばまわれ」
- 2)ナビのほかにロードマップが必要だった。訓練時に指摘されながらも購入されていなかった。
- 3)専用までいかなくとも優先して使用できる車両が必要。可能なら3ナンバー、だめでも5ナンバーのミニバンが必要。現状の職員使用車での限界を痛感した。ナビは不可欠。
- 4)出動時携帯物品の確認・整理（一覧表の作成）

以上